

いっぱい      こーひー

# 一杯の珈琲から

いざな      おくぶか      せかい  
～アロマが誘う奥深い世界へ

堺市立西図書館 浦部文子

# コピ・ルアク<sup>せか いいち こうか</sup>～世界一高価なコーヒーの秘密<sup>ひみつ</sup>

映画「最高の人生の**見つけ方**」<sup>えいが さいこう じんせい み かた</sup> ジャック・ニコルソン、モーガン・フリーマン<sup>しゅえん</sup>主演。  
ロブ・ライナー<sup>かんとく</sup>監督。ワーナー・ブラザーズ<sup>ねん</sup> 2007年



大金持ちの実業家エドワードは<sup>おおがねも じつぎょうか</sup>大のコーヒー好き<sup>だい ず</sup>。が

んで倒れた彼は、豪華なサイフォンと最高級の豆<sup>たお かれ こうか さいこうきゅう まめ</sup>、

コピ・ルアクを病室<sup>びょうしつ</sup>に持ち込みます。ところが、同室<sup>どうしつ</sup>

の博識な自動車整備工カーターは、<sup>はくしき じどうしゃせいびこう わたし すす</sup>「私には勧めるな

とコピ・ルアクを断<sup>ことわ</sup>ります。

この一見正反対の2人のがん患者は、ともに余命半年<sup>いっけんせいはんたい り かんじゃ よめいはんとし</sup>

の宣告を受け、人生でやり残したことを実現<sup>せんこく う じんせい のこ じつげん</sup>するため

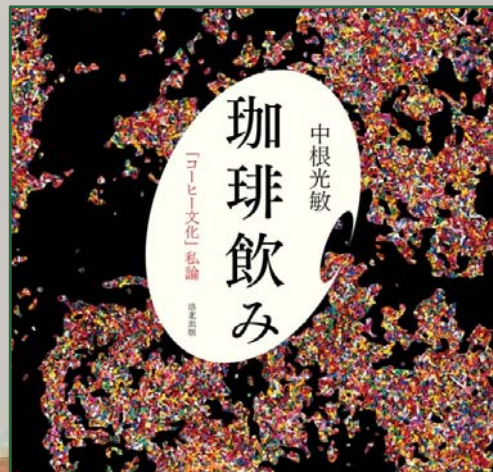
に一緒に旅に出ます。リストの項目を1つ1つ消し<sup>いっしょ たび で こうもく け</sup>な

がら2人がたどり着いた<sup>り つ ところ</sup>処は・・・。コピ・ルアク

の秘密<sup>ひみつ</sup>は映画の終盤<sup>えいが しゅうばん あ</sup>に明かされます。

こーひー きけん みりよく じょうき いっ は おもしろ  
珈琲の危険な魅力～常軌を逸して嵌まることの面白さ

こーひー の ぶんか しろん なかね みつとし ちょ らくほく しゅっぱん  
『珈琲飲み 「コーヒー文化」私論』 中根 光俊／著 洛北出版 2014.9



うかつにも…… 珈琲に、夢中。

美味しい珈琲を探し求め、全国の珈琲店をめぐり歩く。やがて、職人が淹れる作品のような珈琲を、いつか自分の手でも、と思いつめ、店で修業するにいたる。やがて、市販の豆では飽き足らず、生豆を仕入れて自家焙煎を始める。やがて、コーヒー農園に渡航しさえする。やがてとやがての間で、次々と浮かぶ謎——「美味しいとは？」「一杯の価格の基準は？」「喫茶店の始まりは？」……。珈琲に、うきみをやつした実体験をもとに、「コーヒー文化」の妙味を、酒饌に紹介する。

ちょしゃ なかねみつとしし ねんう しゃかいがくしゃ  
著者の中根光敏氏は、1961年生まれの社会学者です。

ちゅうがくせい ころ ばこしゅうしゅう はじ きつさてん  
中学生の頃、マッチ箱 蒐集のために始めた喫茶店

めぐ こーひー であ だいがくせい ころ じぶん い こーひー  
巡りで珈琲と出会い、大学生の頃、自分で淹れた珈琲

のおいしさに目覚め、のめり込みます。

じょうねつ せんもんでん こーひーしゅぎょう  
その情熱は、やがて専門店での珈琲修行となり、

ぜんこく めぐ こーひーあんぎゃ なままめ しい  
全国を巡る珈琲行脚となり、コーヒーの生豆を仕入れ

じかばいせん とう  
ての自家焙煎へとなり、ついにスマトラ島のコーヒー

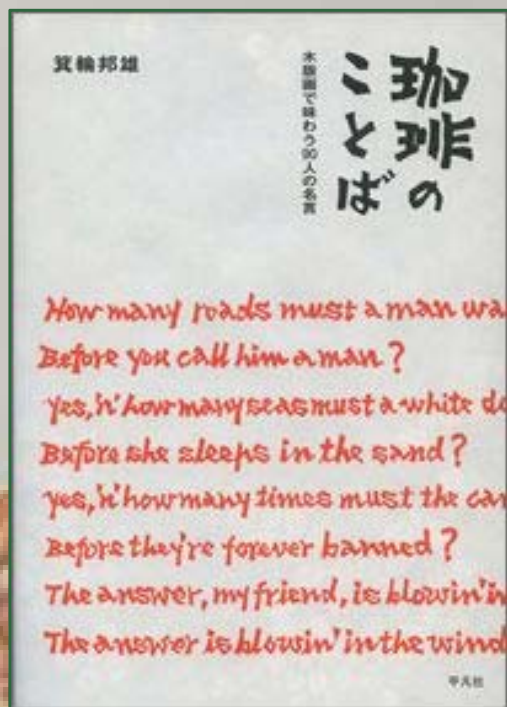
のうえん ほうもん ちょしゃ じんじょう けいけん  
農園への訪問となります。著者の尋常ではない経験

こーひー さまざま ちしき ほんしょ  
に、珈琲にまつわる様々な知識をちりばめた本書は、

かお たか こーひーぶんか しょうたいじょう い  
香り高い珈琲文化への招待状と言えるでしょう。

かいかく そば こーひー  
改革の傍に珈琲あり～古今東西、珈琲をめぐる金言集

こーひー もく はんが あじ にん めいげん み の わ く に お ちよ へいぼんしゃ  
『珈琲のことば 木版画で味わう 90人の名言』 箕輪 邦雄 / 著 平凡社 2016.3



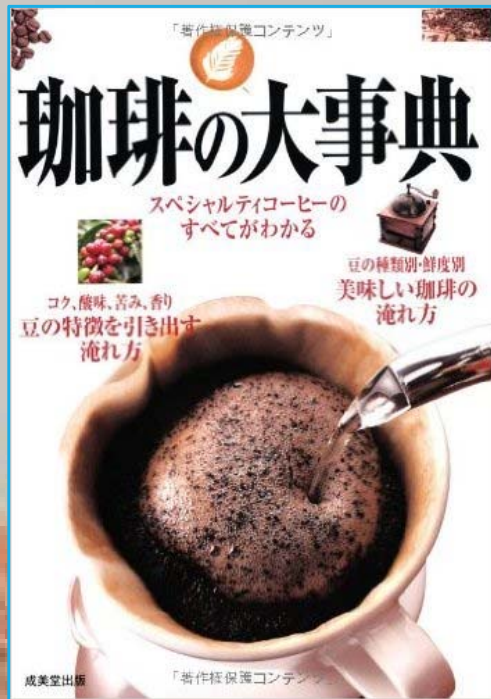
ちよしゃ もくはん が か  
著者は、木版画家です。コーヒーにまつわるもろもろ  
ひとたち あしあと じか つた ことば えら ねん  
の人達の足跡が、直に伝わるような言葉を選び、10年  
いじょう さいげつ もくはん ず  
以上の歳月をかけて、木版摺りにしてきました。ベー  
トーヴェンが、夏目漱石が、蜷川幸雄がコーヒーを飲  
すがた め う なが たの めいげんしゅう  
む姿が目には浮かぶような、眺めて楽しい名言集です  
ひょうし かぜ ふ  
表紙はボブ・ディランの「風に吹かれて」(Blowin' In  
The Wind)。収録された、「最初にして最後のコーヒ  
しよくにん こうはちろ し ぶんしょう せつ しょうかい  
一職人」耕八路氏の文章から1節を紹介します。  
さいしよ てき えき らつか とし わたし  
「この最初の1滴のコーヒー液が落下する時、私の  
むね たかな  
胸は高鳴る。」

# おいしい 一杯のために～目指すはホームバリスタ

こーひー だいじてん  
『珈琲の大事典』

せいびどう しゅっぱんへんしゅうぶ へん  
成美堂出版編集部／編

せいびどう しゅっぱん  
成美堂出版 2011.9



できればおいしい珈琲を淹れたいもの。「でも何だか  
難しそう。」という方には、こんな本はいかがでし  
う？豆の選び方や扱い方、お湯の温度、抽出ス  
ピード等、美味しく淹れるコツを初心者にもわかりやす  
く解説しています。さらに深く珈琲を楽しみたい方に  
は、カップング（コーヒーの品質を鑑定するために  
行なう味覚審査）や自家焙煎、オリジナルブレンドの手順  
も紹介しています。豆や産地、珈琲文化に関する知識  
も載っています。

まちかど      こーひー      にお      なが      おも      こつきょう      こ  
**街角に珈琲の匂い流れ～想いは国境を超える**

いっぱい      こーひー      ちょ      こまつたろう      やく      とうきょうそうげんしゃ  
『一杯の珈琲から』 エーリヒ・ケストナー／著 小松太郎／訳 東京創元社 1975.3



ぶたい      ねん      かわせかんり      せいやく  
舞台は、1937年のザルツブルク。為替管理の制約から  
オーストリアにほとんどお金を持ち込めないこの  
じだい      ゆうじん      きゅうか      さそ  
時代、友人にザルツブルクでの休暇に誘われたドイツ  
人の主人公は、国境近くのドイツに宿をとり、毎日  
オーストリアに通うことにします。ある日のこと、カ  
フェで待ち合わせた友人が姿を見せず、一文無しの  
かれ      こーひーだい      た      か      ひと      さが      せい      め  
彼は珈琲代を立て替えてくれる人を探します。その目  
とまったのは、栗色の髪に青い目の美しい女性。彼女  
えがお      かれ      いっしゅん      こい      お  
の笑顔に彼は一瞬で恋に落ちるのですが・・・。

# まちライブラリープラザひといき

けんこう じょうほう  
～がんと健康情報コーナー



ばしょ さかいしりつけんこうふくし かい こうりゅうひろば  
場所：堺市立健康福祉プラザ4階 交流広場

かいかんび まいしゅうすいようび きんようび どようび  
開館日：毎週水曜日、金曜日、土曜日

かいかんじかん ごぜん じ ごご じ  
開館時間：午前10時～午後3時